



宮崎市

宮崎市は、**市制100周年**を迎えました。  
これまで宮崎市に関わっていただいた企業様や、  
これからの宮崎市を共に創ってくださる企業様からのご支援を心よりお待ちしております。



# G7宮崎農業大臣会合を踏まえた みどり農業の取組



2024.10.31 第42回分科会 企業と地方公共団体とのマッチング会

- ・農業産出額 **29,760** 百万円 (令和4年 / 全国26位)
- ・きゅうり産出額 全国 **1** 位!
- ・ピーマン産出額 全国 **4** 位!



G7宮崎農業大臣会合 2023.4.22日 - 23日  
G7 Agriculture Ministers' Meeting in Miyazaki



### 【宮崎アクション(抜粋・要約)】

- ・あらゆる形のイノベーションの実施や持続可能な農業の促進により、**農業・食料システムの持続可能性を向上**させる。
- ・環境に好ましい結果を創出し**GHG排出を削減**するため、**農業政策の改革・方向転換**の努力を必要に応じ強化する。



これらの背景を踏まえ、

宮崎市は

# みどり農業の取組

を推進します！

## 目的

- ・有機農業や特別栽培等を推進し、環境への負担を低減することで、**農業・食料システムの持続可能性を向上させる。**



## 現状・課題

- ・ビニールハウスを利用した農業が盛んで、**有機農業は少数派。**
- ・有機農業は、除草等の作業が多いため**労力がかかる。**
- ・有機農業は、害虫や災害の被害を受けやすく、**生産リスクが高い。**
- ・有機農産物は、**収量や品質(見た目)が劣る。**
- ・有機農産物は、消費者の**認知度が低い。**
- ・有機農産物は、地産地消が進んでおらず、**売り先も確保されていない。**



<学校給食における有機農業推進のための研修>

現状・課題に対する取組として、

本年度の取組

「環境負荷低減に配慮した農林水産物」に対する消費者理解を得るため、市内の児童生徒に対し、環境や食育に関する教育を実施する。

- ・学校給食での有機農作物等の活用
- ・栄養教諭向け食育の試行や先進事例調査
- ・環境や食育に関する動画制作 等



地産地消

目標

市内全ての小中学校の学校給食に使用される米を有機米に転換する。

今後の展望

- ・有機農業実施計画の策定し、オーガニックビレッジを宣言する。
- ・先進地調査・視察、試行的な取組を支援する。
- ・学校給食以外の地産地消にも取り組み、売り先の確保につなげる。



持続可能な有機農業を促進し、生産者を増やすことで、環境負荷を低減する。宮崎市は、G7宮崎農業大臣会合の開催地として、

みどり農業の取組 に果敢にチャレンジします！



宮崎市

G7宮崎農業大臣会合を踏まえたみどり農業(有機農産物等)の取組

寄附のお礼も、ご用意しております！

是非とも、宮崎市の

みどり農業の取組

に、



市HPIに企業名及び  
企業HPリンクの掲載



有機農業の現場視察

ご支援いただきますようお願いいたします。

宮崎市 農政部 農政企画課(担当: **児玉・假屋**)

TEL:0985-21-1785 E-mail:15nousei@city.miyazaki.miyazaki.jp

総合政策部 都市戦略課 ふるさと納税推進係(企業版ふるさと納税担当: **梶原**)

TEL:0985-44-2590 E-mail:kigyouban@city.miyazaki.miyazaki.jp

何でも  
お問い合わせください！



【用語解説】

「みどり農業」…地球や自然への負荷を低減し、将来もずっと農業を続けていくことができるよう工夫を凝らした農業のこと。宮崎市による造語。

「有機農業」…化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないことや、遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した生産方法を用いて行われる農業のこと。